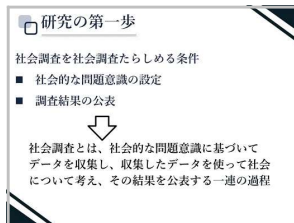


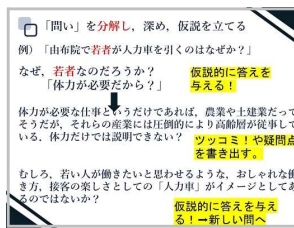
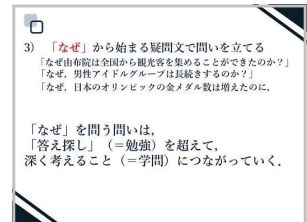
## 2024年度チャレンジ講座(第9回)を実施しました

10月16日(水曜日)、第9回チャレンジ講座を実施しました。今回は、経済学部の甲斐智大先生に「インタビュー調査の基礎：社会調査を楽しむコツとは？」と題して講義をしていただきました。



まず、社会調査についての説明がされました。また、「問い」の設定が非常に重要だということでした。身近なことで良いですが、意味があるものでなければならない、ということでした。そして、「問い」を分解し、深めていくことが大切である、ということも学びました。

「問い」を分解することで新しい課題も生まれてきます。さらに、その「問い」を検証するために、ヒアリングを行ったりフィールドワークに行ったりもしなければいけないし、その際には「話を聞くこと」が目的化しないように、十分に準備をしなければいけないとのことでした。



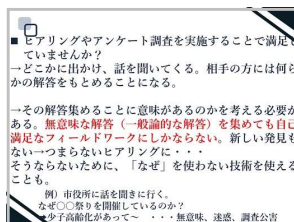
由布院の人力車の例も取り入れながらの、大変わかりやすい説明でした。ペアで話す時間もあり、生徒たちは飽きることなく講義を受けることができたようです。本校2年生普通科が行っている「総合的な探究の時間」に通じるものもあり、学びの多いものでした。

※今回の記事(講義概要)は、三重総合高校が担当しました。

今回のチャレンジ講座に、22校275名の高校生が参加しました。感想の一部を紹介します。

○具体的な例があったので理解しやすかった。話し合いの時間があり、楽しみながら受けることができた。

○疑問にどんどんツッコミを入れることでどんどん良い問いになっていくんだなと思いました。その後に繋がる意味のある問いにすることが難しそうだなと思いました。そして課題が解決できたら自分だけが知るのではなく周りの人にも伝えていく必要があることもわかりました。



○「ごく当たり前のよう暮らしている身のまわりにも、『なぜ』は転がっている」が、確かにそうだと思います。印象に残りました。「問い」への答えが、何につながるかを思いを巡らせること、仮説的に答えを与えることが大切だと分かりました。学校での探究活動に生かしたいと思いました。

○貴重な講義をありがとうございました。生徒に近い目線で講義をしてくださったおかげで、親しみを持ってました。講義で得た知識や手法をこれからの探究活動で活かします。

